



## 2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月14日

上場会社名 三光産業株式会社  
コード番号 7922 URL <https://www.sankosangyo.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石井 正和

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括本部長 (氏名) 阿部 雅弘

TEL 03-3403-8134

四半期報告書提出予定日 2022年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	5,148	8.2	37	45.4	230	352.5	189	166.4
2022年3月期第2四半期	4,758	1.3	68		50		71	

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 299百万円 (192.3%) 2022年3月期第2四半期 102百万円 ( % )

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	30.59	
2022年3月期第2四半期	11.48	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	11,048	7,973	72.2
2022年3月期	11,843	7,717	65.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 7,973百万円 2022年3月期 7,717百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		7.00	7.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,731	1.4	55	47.9	62	46.8	60	67.1	9.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	7,378,800 株	2022年3月期	7,378,800 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	1,185,873 株	2022年3月期	1,185,873 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	9,192,927 株	2022年3月期2Q	6,192,932 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(4)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 会計上の見積り及び当該見積りに用いた仮定 .....	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(当四半期累計期間における重要な子会社の異動) .....	9
(会計方針の変更) .....	9
(追加情報) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2022年4月1日～2022年9月30日）における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が緩和し、緩やかな回復基調がみられるものの、ウクライナ情勢の長期化や世界的なインフレの加速、急激な円安進行などにより、景気動向については不安定な状況が続いております。

印刷業界においては、日本国内において印刷需要が減少する中、受注競争による単価の下落、サプライチェーンの混乱、また海外においても現地企業との受注競争の激化等、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと当社グループは、新型コロナウイルス感染症の収束長期化に加え、急激な円安進行や原材料高騰等により業績の見通しが立たない中、売上の拡大と新基幹システム構築による効率化の推進により収益の改善に取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は5,148百万円（前年同期比108.2%）と増収となりました。

利益面につきましては、売上原価、販売費及び一般管理費の削減に努めました結果、営業利益は37百万円（前年同期は68百万円の営業利益）となりました。また、受取配当金及び為替差益の計上により経常利益は230百万円（前年同期は50百万円の経常利益）となり、固定資産売却益を8百万円及び固定資産処分損を4百万円計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は189百万円（前年同期は71百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

#### ① 日本

パネル関連製品の幅広い営業展開と、シール・ラベル製品の受注確保のため、既存取引先の深耕のほか日用品関連等の新規分野への営業展開を積極的に行い、製造面については、歩留率の改善等による効率化を重点的に進めてまいりました。

主として電気機器関連のラベル・ステッカー関連製品が増収となったことにより、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,809百万円（前年同期比105.8%）となりました。また、利益面については、販売費及び一般管理費の削減に努めましたものの、セグメント損失は20百万円（前年同期は3百万円のセグメント損失）となりました。

日本セグメントに所属する連結子会社は、株式会社トムズ・クリエイティブ及び株式会社アクシストラスであります。

#### ② 中国

中国セグメントにつきましては、連結子会社燦光電子（深圳）有限公司について、2019年8月に製造工場を閉鎖し、販売会社として国内の営業部門及び生産提携先との連携を強化し、中国市場における業績の安定化を目指して積極的な営業展開を継続いたしました結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,013百万円（前年同期比141.4%）となり、セグメント利益は38百万円（前年同期は35百万円のセグメント利益）となりました。

なお、中国セグメントに所属する連結子会社は、光華産業有限公司及び燦光電子（深圳）有限公司であります。

#### ③ アセアン

アセアンセグメントに所属する連結子会社サンコウサンギョウ（マレーシア）SDN. BHD.、サンコウサンギョウ（バンコク）CO., LTD. 及びサンコウサンギョウ（ベトナム）CO., LTD. につきましては、日本国内外からの営業面・製造面の支援を受け、積極的な営業活動及び製造工程の改善等を図っております。

しかしながら、昨年12月にマレーシアにて発生しました洪水被害及び新型コロナウイルス感染症の収束長期化による活動制限の影響を大きく受け、電気機器関連のシール・ラベル分野において受注減となり、当第2四半期連結累計期間の売上高は325百万円（前年同期比73.6%）となりました。利益面においては、製造原価、販売費及び一般管理費の削減により、セグメント利益は21百万円（前年同期は20百万円のセグメント利益）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産の残高は11,048百万円となり、前連結会計年度末比795百万円減少いたしました。これは、主に受取手形、売掛金及び契約資産が391百万円、商品及び製品が66百万円、のれんが164百万円増加いたしました。現金及び預金が609百万円、その他流動資産が658百万円減少したことによるものであります。

負債総額は3,074百万円となり、前連結会計年度末比1,051百万円減少いたしました。これは、主に長期借入金が50百万円、短期借入金が812百万円、支払手形及び買掛金が193百万円減少したことによるものであります。

また、純資産総額は7,973百万円となり、前連結会計年度末比256百万円増加いたしました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益189百万円を計上したこと及び為替換算調整勘定が195百万円増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は72.2%（前連結会計年度末は65.2%）となりました。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、2,323百万円（前年同期比28百万円減）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により獲得した資金は、486百万円（前年同期は846百万円の資金の使用）となりました。これは税金等調整前四半期純利益234百万円（前年同期は79百万円の税金等調整前四半期純利益）に非資金損益項目や営業活動に係る資産及び負債の増減等を加減算しております。主な加算要因は、減価償却費74百万円、為替差損益132百万円、その他の流動資産の減少額728百万円等であり、主な減算要因は、売上債権の増加額125百万円、仕入債務の減少額394百万円等によるものであります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は、260百万円（前年同期は1百万円の資金の使用）となりました。これは主な増加要因は、有形固定資産の売却による収入8百万円等であり、主な減少要因は、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出154百万円、有形固定資産の取得による支出103百万円等によるものであります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は、994百万円（前年同期は687百万円の資金の獲得）となりました。これは主に、短期借入金の返済による支出873百万円等の資金の減少要因によるものであります。

## (3) 会計上の見積り及び当該見積りに用いた仮定

前事業年度の有価証券報告書に記載した「経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」中の会計上の見積り及び当該見積りに用いた仮定の記載について、重要な変更はありません。

## (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想については、当社グループを取り巻く景況感は概ね想定範囲内であることから、現時点では2022年5月16日に公表しました業績予想に変更はありません。

今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には速やかに開示する予定であります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,949,726	2,340,084
受取手形、売掛金及び契約資産	2,484,869	2,876,172
電子記録債権	906,523	759,960
商品及び製品	703,493	770,236
仕掛品	44,673	72,383
原材料及び貯蔵品	171,933	191,176
その他	921,616	263,458
貸倒引当金	△668	△597
流動資産合計	8,182,167	7,272,875
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,657,660	2,714,971
減価償却累計額	△1,846,366	△1,900,542
建物及び構築物 (純額)	811,293	814,429
機械装置及び運搬具	2,313,472	2,255,853
減価償却累計額	△2,015,838	△1,924,493
機械装置及び運搬具 (純額)	297,633	331,359
工具、器具及び備品	230,285	210,398
減価償却累計額	△196,044	△167,560
工具、器具及び備品 (純額)	34,240	42,838
土地	1,281,015	1,287,441
リース資産	58,298	57,705
減価償却累計額	△47,490	△49,901
リース資産 (純額)	10,807	7,803
建設仮勘定	-	32,930
有形固定資産合計	2,434,990	2,516,801
無形固定資産		
のれん	-	164,563
ソフトウェア	179,684	161,259
ソフトウェア仮勘定	2,700	2,686
無形固定資産合計	182,384	328,509
投資その他の資産		
その他	1,067,641	955,070
貸倒引当金	△24,016	△25,203
投資その他の資産合計	1,043,624	929,867
固定資産合計	3,661,000	3,775,178
資産合計	11,843,168	11,048,053

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,521,454	1,328,453
電子記録債務	760,646	814,894
短期借入金	932,774	120,031
未払法人税等	44,650	59,511
賞与引当金	92,325	104,966
災害損失引当金	96,569	89,134
その他	181,009	160,060
流動負債合計	3,629,429	2,677,051
固定負債		
長期借入金	300,000	250,000
退職給付に係る負債	120,076	113,720
繰延税金負債	58,416	18,156
その他	17,956	15,352
固定負債合計	496,449	397,230
負債合計	4,125,879	3,074,281
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,850,750	1,850,750
資本剰余金	2,277,951	2,277,951
利益剰余金	4,323,858	4,469,974
自己株式	△1,013,873	△1,013,873
株主資本合計	7,438,687	7,584,802
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	445,385	360,738
為替換算調整勘定	△166,783	28,231
その他の包括利益累計額合計	278,601	388,969
純資産合計	7,717,288	7,973,772
負債純資産合計	11,843,168	11,048,053

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	4,758,628	5,148,030
売上原価	3,823,869	4,170,274
売上総利益	934,759	977,756
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	385,739	372,208
賞与引当金繰入額	62,917	58,542
退職給付費用	26,944	24,312
福利厚生費	76,686	74,694
その他	313,558	410,364
販売費及び一般管理費合計	865,845	940,121
営業利益	68,913	37,634
営業外収益		
受取利息	846	1,419
受取配当金	14,045	16,248
為替差益	-	173,546
貸倒引当金戻入額	288	-
その他	1,922	6,320
営業外収益合計	17,102	197,535
営業外費用		
支払利息	10,896	4,319
為替差損	24,080	-
その他	44	99
営業外費用合計	35,021	4,419
経常利益	50,995	230,749
特別利益		
固定資産売却益	29,215	8,598
特別利益合計	29,215	8,598
特別損失		
固定資産処分損	355	4,821
特別損失合計	355	4,821
税金等調整前四半期純利益	79,855	234,526
法人税、住民税及び事業税	8,183	40,872
法人税等調整額	557	4,187
法人税等合計	8,740	45,060
四半期純利益	71,114	189,466
親会社株主に帰属する四半期純利益	71,114	189,466



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	71,114	189,466
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16,482	△84,647
為替換算調整勘定	47,959	195,015
その他の包括利益合計	31,476	110,367
四半期包括利益	102,591	299,834
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	102,591	299,834
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	79,855	234,526
減価償却費	75,172	74,419
のれん償却額	-	8,661
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△2,719	△6,355
賞与引当金の増減額 (△は減少)	16,644	12,641
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△288	1,116
災害損失引当金の増減額 (△は減少)	-	△7,435
受取利息及び受取配当金	△14,891	△17,668
支払利息	10,896	4,319
為替差損益 (△は益)	37,122	132,030
有形固定資産除売却損益 (△は益)	△28,860	△3,776
売上債権の増減額 (△は増加)	244,911	△125,838
棚卸資産の増減額 (△は増加)	441,896	14,480
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△706,787	728,082
仕入債務の増減額 (△は減少)	△933,344	△394,606
未払金の増減額 (△は減少)	△17,846	△13,079
その他	△36,595	△114,901
小計	△834,833	526,617
利息及び配当金の受取額	14,891	17,668
利息の支払額	△10,314	△4,756
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△15,856	△52,825
営業活動によるキャッシュ・フロー	△846,113	486,704
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△35,674	△103,041
有形固定資産の売却による収入	29,252	8,015
投資有価証券の取得による支出	△4,893	△5,145
保険積立金の解約による収入	-	2,138
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△154,046
その他	9,933	△8,520
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,381	△260,598
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	772,018	-
短期借入金の返済による支出	-	△873,694
長期借入金の返済による支出	△50,000	△75,000
配当金の支払額	△30,764	△43,011
自己株式の取得による支出	△6	-
その他	△3,764	△2,604
財務活動によるキャッシュ・フロー	687,482	△994,310
現金及び現金同等物に係る換算差額	42,130	156,685
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△117,881	△611,519
現金及び現金同等物の期首残高	2,469,674	2,934,748
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,351,793	2,323,229

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（当四半期累計期間における重要な子会社の異動）

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結会計期間より、株式会社アクシストラスの全株式を取得したことにより、連結の範囲に含めております。

（会計方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。

なお、当該会計基準適用指針の適用が四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

（追加情報）

（表示方法の変更）

前連結会計年度より、従来「販売費及び一般管理費」、「営業外収益」及び「営業外費用」に計上しておりました不動産関連の収益及び費用を、「売上高」及び「売上原価」に計上する方法に変更しております。

これは、当社グループの賃貸収入は収入源の一つであり、事業運営の実態をより適切に表示するために行ったものであります。

この表示方法の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っており、「営業外収益」の「受取賃貸料」7,776千円及び「その他」4千円は「売上高」に、「販売費及び一般管理費」の「その他」1,634千円及び「営業外費用」の「賃貸建物減価償却費」273千円は「売上原価」に組替えております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	日本	中国	アセアン	合計
売上高				
外部顧客への売上高	3,600,076	716,781	441,770	4,758,628
セグメント間の内部売上高 又は振替高	625,395	582,442	8,425	1,216,263
計	4,225,471	1,299,224	450,196	5,974,892
セグメント利益又は損失(△)	△3,186	35,444	20,756	53,014

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	53,014
セグメント間取引消去	15,899
四半期連結損益計算書の営業利益	68,913

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当する事項はありません。

## Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			
	日本	中国	アセアン	合計
売上高				
外部顧客への売上高	3,809,540	1,013,341	325,148	5,148,030
セグメント間の内部売上高 又は振替高	728,134	633,584	4,032	1,365,750
計	4,537,674	1,646,925	329,180	6,513,780
セグメント利益又は損失 (△)	△20,892	38,681	21,343	39,132

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	39,132
セグメント間取引消去	△1,498
四半期連結損益計算書の営業利益	37,634

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当する事項はありません。

## 4. 報告セグメントの変更等に関する事項

表示方法の変更に記載のとおり、前連結会計年度より表示方法の変更を行っております。前第2四半期連結累計期間のセグメント情報につきましては、変更後の数値を用いて作成したものを記載しております。